

- 洛西地域はバス路線が充実している。地域の活性化には、若い世代が新たに移り住んでくれるような観点からの取組が重要である。
- 都市計画が交通事業者に与える影響は大きい。短期的には、既存路線・ダイヤの維持を考えることになるが、中期的には、公共交通をまちづくりの中に位置付けて考えていくことが重要である。
- 公共交通を維持するには、自分ごととして捉えることが大切。洛西地域では、地域住民が主体となって、バスの利用促進を図る取組が行われており、こうした取組を地域全体、さらには全市的に広がってほしい。
- 民営バス敬老乗車証の適用地域拡大を踏まえ、地域の方には、事業者の垣根を越えて「バスはバス。どのバスでも利用できる」という意識を持っていただくことが重要。チャレンジをして「次の世代にもバスは便利」とPRしてほしい。
- 人口減少、高齢化、コロナの影響でバス事業者は厳しい経営状況にある中、事業者同士が連携を図ることで、利用者にとっては利便性、事業者にとっては生産性を向上させる取組ができれば良いと思う。